

2013年3月期 第2四半期決算説明会

TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社

2012年11月16日

※本資料についてのご注意:

本資料に記載されているTDCソフトウェアエンジニアリング株式会社の将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

2013年3月期 第2四半期決算概況

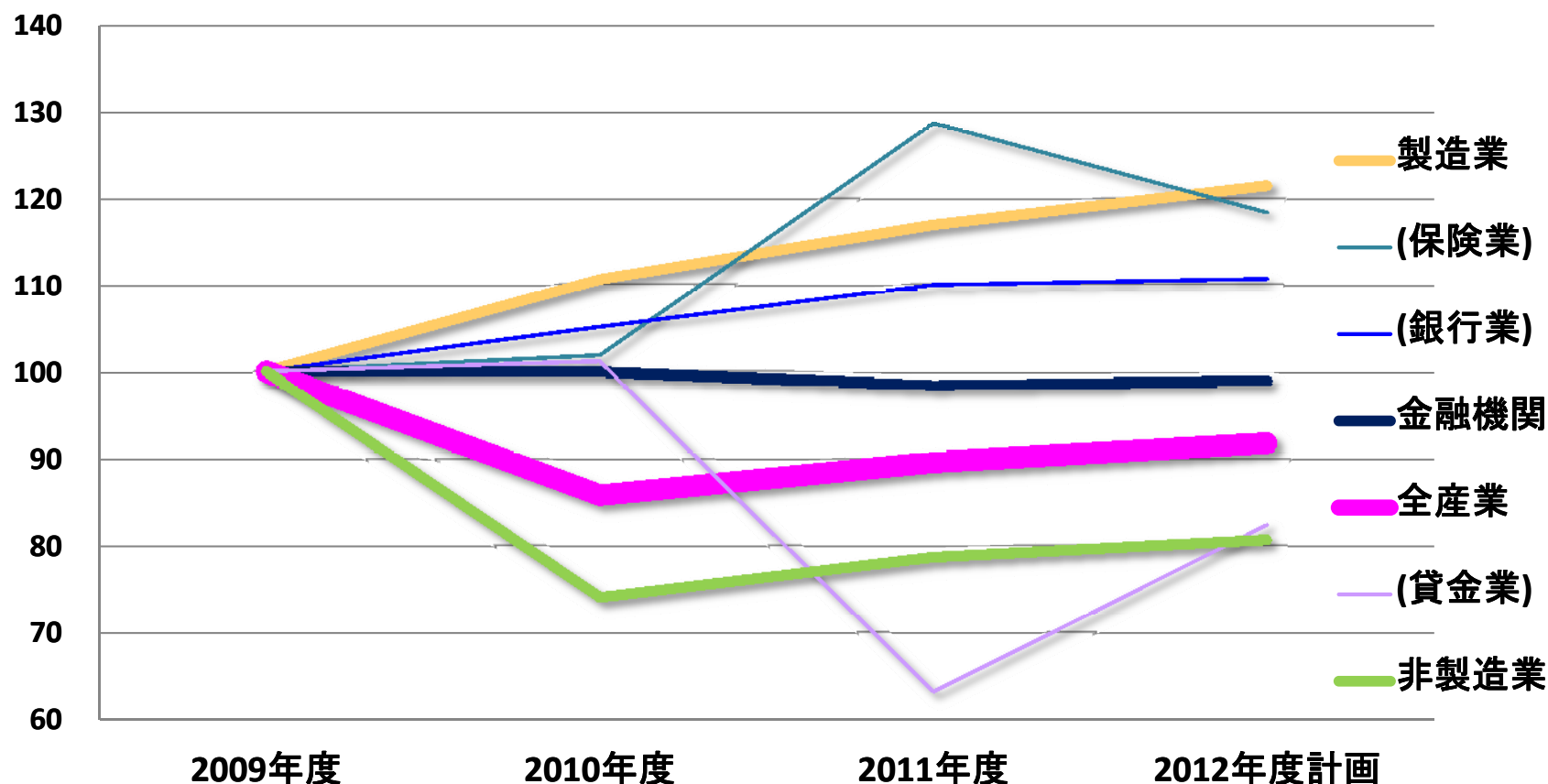
2013年3月期 業績見通し

代表取締役社長
谷上 俊二

ソフトウェア投資の動向

- 競争力を高める戦略的IT投資の動き
- 国内景気の先行き不透明感を受けて、企業のIT投資は先送りされやすい状況

ソフトウェア投資額(年度計画) (2009年度の値を基準値100として各年度を表示)



出所:日銀「短観(2012年9月調査)」より当社作成

決算ハイライト

(百万円)

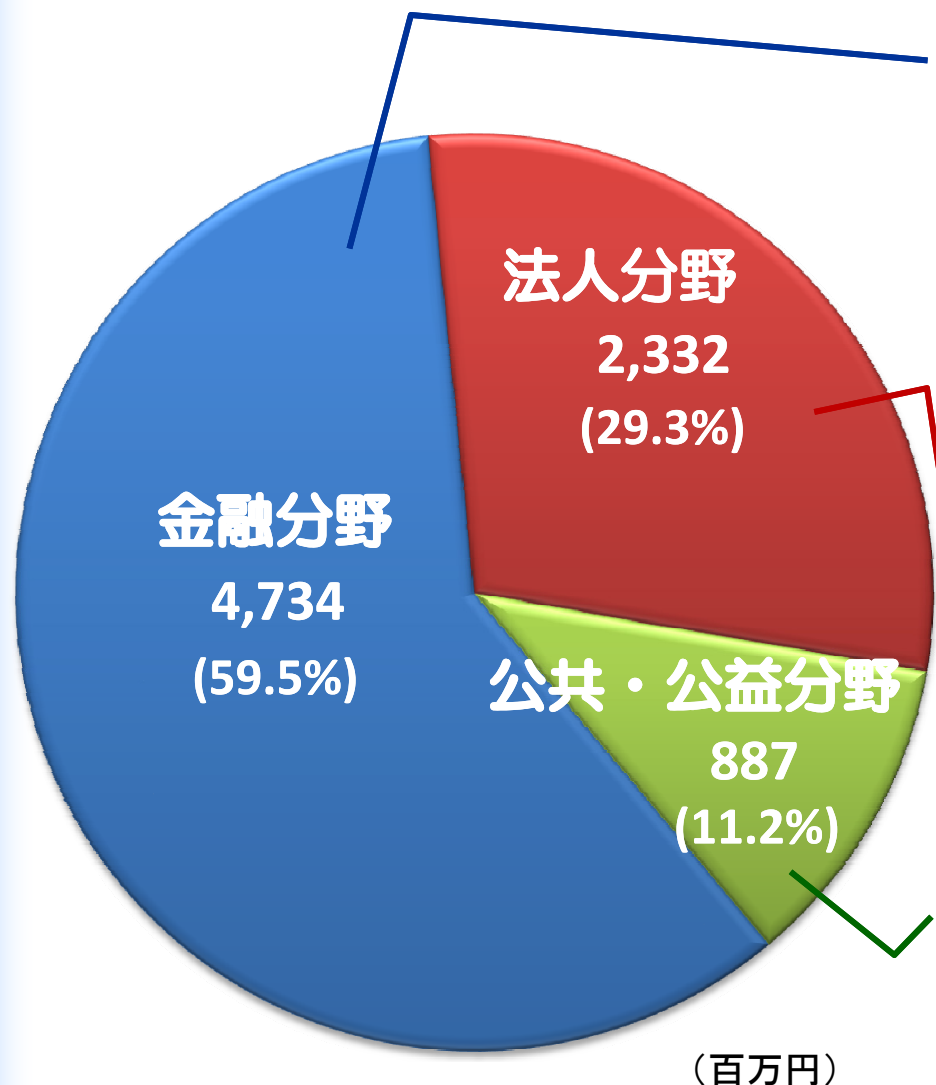
| | 2012年度 2Q | 利益率 | 前期比 | 2011年度 2Q | 利益率 | 期初予想 | 期初 予想比 |
|-------|--------------|-------|--------|--------------|-------|-------|-----------|
| 売上高 | 7,953 | - | △2.9% | 8,194 | - | 8,300 | △4.2% |
| 売上総利益 | 1,274 | 16.0% | +16.2% | 1,096 | 13.4% | - | - |
| 営業利益 | 284 | 3.6% | +26.6% | 224 | 2.7% | 300 | △5.1% |
| 経常利益 | 314 | 4.0% | +32.2% | 238 | 2.9% | 300 | +4.9% |
| 当期純利益 | 178 | 2.2% | +48.1% | 120 | 1.5% | 160 | +11.5% |

【売上高】

法人分野及び公共・公益分野がともに堅調に推移したものの、金融分野が減少

【利益】

プロジェクトマネジメントの強化に努め不採算案件が減少、
空き稼働が低減し、売上総利益率が改善



金融分野

- ◆ 大型システム開発案件の先送り
- ◆ 金融機関オープンシステムのアプリケーション開発やシステム環境構築の案件は堅調に推移

➡ 売上高 4,734百万円(前年同期比▲11.9%)

法人分野

- ◆ 通信キャリアのネットワーク強化に関するシステム開発案件が堅調に推移
- ◆ ECサイト構築案件など新たな取り組み

➡ 売上高 2,332百万円(前年同期比+9.1%)

公共・公益分野

- ◆ エネルギー関連、団体関連向けのシステム開発案件が堅調に推移
- ◆ 官公庁・自治体関連向けのシステム開発案件は低調

➡ 売上高 887百万円(前年同期比+30.0%)

システム基盤・ネットワーク関連システム開発

- ◆受注活動強化により金融関連のインフラ構築やオープン化ニーズの取り込み
- ◆通信キャリアのネットワーク強化に関するシステム開発に対応

ソリューションビジネス

- ◆クラウド、モバイル、BI関連の案件が増加
- ◆クラウド等、サービス及び製品を活用したシステム開発を推進、
全社連携を強化したことにより提案機会が増加
- ◆HANDyTRUSTはTrustpro連携により利用者数増加、
認知度も向上しており、より浸透させ利用者数を増加させる

受注力の強化

- コンサルティング組織が中心となり、全社の提案力を強化
 - クラウド、モバイル、BIで提案活動が活発化、新規顧客を獲得
- 部門間連携、アカウント営業力を強化し、受注活動を展開
 - 顧客ニーズへの的確な対応により、サービス提供範囲を拡大

不採算案件の低減

- プロジェクトレビューの実施
- 受注判定の厳格化
 - プロジェクトマネジメントの強化
- 不採算案件の発生を抑制、収益性が向上

通期の見通し

(百万円)

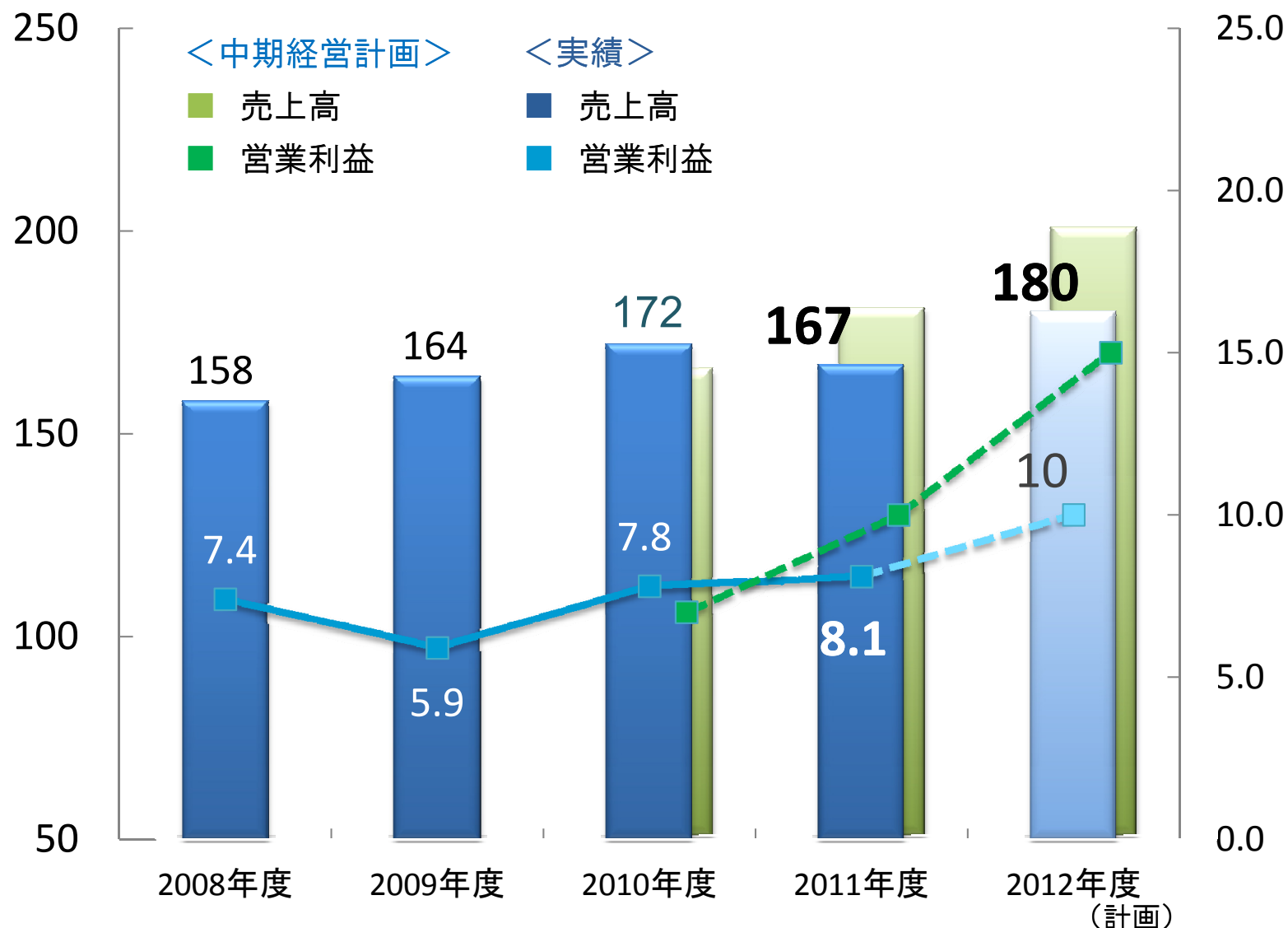
| | 2012年度 通期 | | | 2011年度 通期 | 2010年度 通期 |
|-----------------|--------------|--------|---------|--------------|--------------|
| | | 増減額 | 増減率 | | |
| 売上高 | 18,000 | +1,258 | + 7.5% | 16,741 | 17,220 |
| 営業利益 | 1,000 | +185 | + 22.7% | 814 | 781 |
| 経常利益 | 1,000 | +133 | + 15.4% | 866 | 870 |
| 当期純利益 | 550 | +156 | + 39.9% | 393 | 376 |
| EPS | 91.93円 | 26.49円 | + 40.5% | 65.44円 | 62.42円 |
| 1株当り配当金 (年間) | 25円 | - | - | 25円 | 25円 |

* 2012年5月8日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

業績推移 (中期経営計画)

(売上高:億円)

(営業利益:百万円)



☆成長に必要な技術、市場を獲得するため、売上高20億円規模のM&A等を計画

▶「Trustpro2.01」リリース

情報共有ツールとしての機能を大幅強化、HTML5にも対応



▶「HANDyTRUST iPhone版」リリース

iPhone版リリース、スマートフォン全般で利用可能に



▶第5回クラウドランキング (日経コンピュータ2012年10月11日号)で

『HANDyTRUST』が第1回から5回連続となる

ベストサービスに選定

ITproEXP02012 (日経BP社主催)に出展、

クラウドの認知度向上への取組み



▶「QlikView」の導入サービスを提供開始

開発パートナー契約を締結、これまでのBI製品導入ノウハウをもとに、分析生産性の飛躍的な向上、パフォーマンス対策にかかるコストの削減などお客様のビジネスの付加価値を高めるサービスの提供を図る



▶天津TDCでの事業を開始

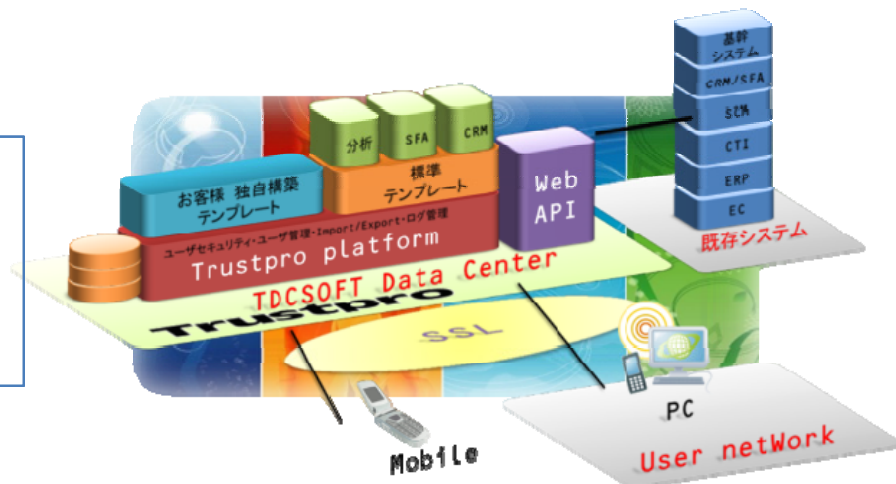
オフショア開発需要への対応、

中国でのビジネス立ち上げに取り組んでいる



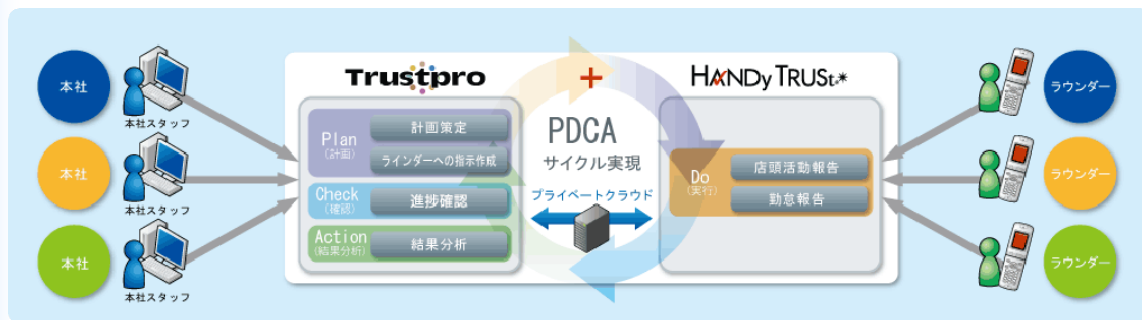
Trustpro

WEBベースでカスタマイズ可能なクラウドサービス。
最小5ユーザーからパブリッククラウドを手軽に始められ、
大規模なプライベートクラウドへの移行もできる。
基幹システム連携、さらにスマートフォン連携も可能。



大規模プライベートクラウド導入事例

アサヒグループホールディングス株式会社様



グループ各社でご利用になる営業支援システムを
TrustproとHANDyTRUST*を用いて、
プライベートクラウドとして構築。
Webを通じて約2,000名、携帯電話を通じて
約1,500名がご利用になっています。

クラウドサービスの進化



「Trustpro 2.01」提供開始 (2012年10月)

SNS機能を拡充し、業務利用における情報共有、コミュニケーションツールとしての機能を大幅に強化。お客様からのご要望が多かったHTML5に対応し、アプリケーション開発機能を拡充しました。

Trustpro 2.01
提供開始

2012

端末、デバイスを
意識しない
統合プラットフォームへ

iPhone対応

Trustpro 提供開始

2009

Android対応

WindowsMobile対応

2006

3G携帯対応

2003

HANDyTRUST提供開始

2G携帯対応
3キャリア対応



HANDyTRUST*

「HANDyTRUST iPhone版」提供開始 (2012年12月予定)

カメラ付き携帯電話を活用したモバイルクラウドソリューション「HANDyTRUST(ハンディトラスト)」の新バージョン、iPhoneで利用できる「HANDyTRUST iPhone版」を2012年12月より提供開始。これまでの「Android™版」と合わせ、スマートフォン全般に対応し、スマートフォンを業務の入口として活用するビジネスソリューションの提供を強化します。

2013年3月期 第2四半期決算内容

取締役常務執行役員

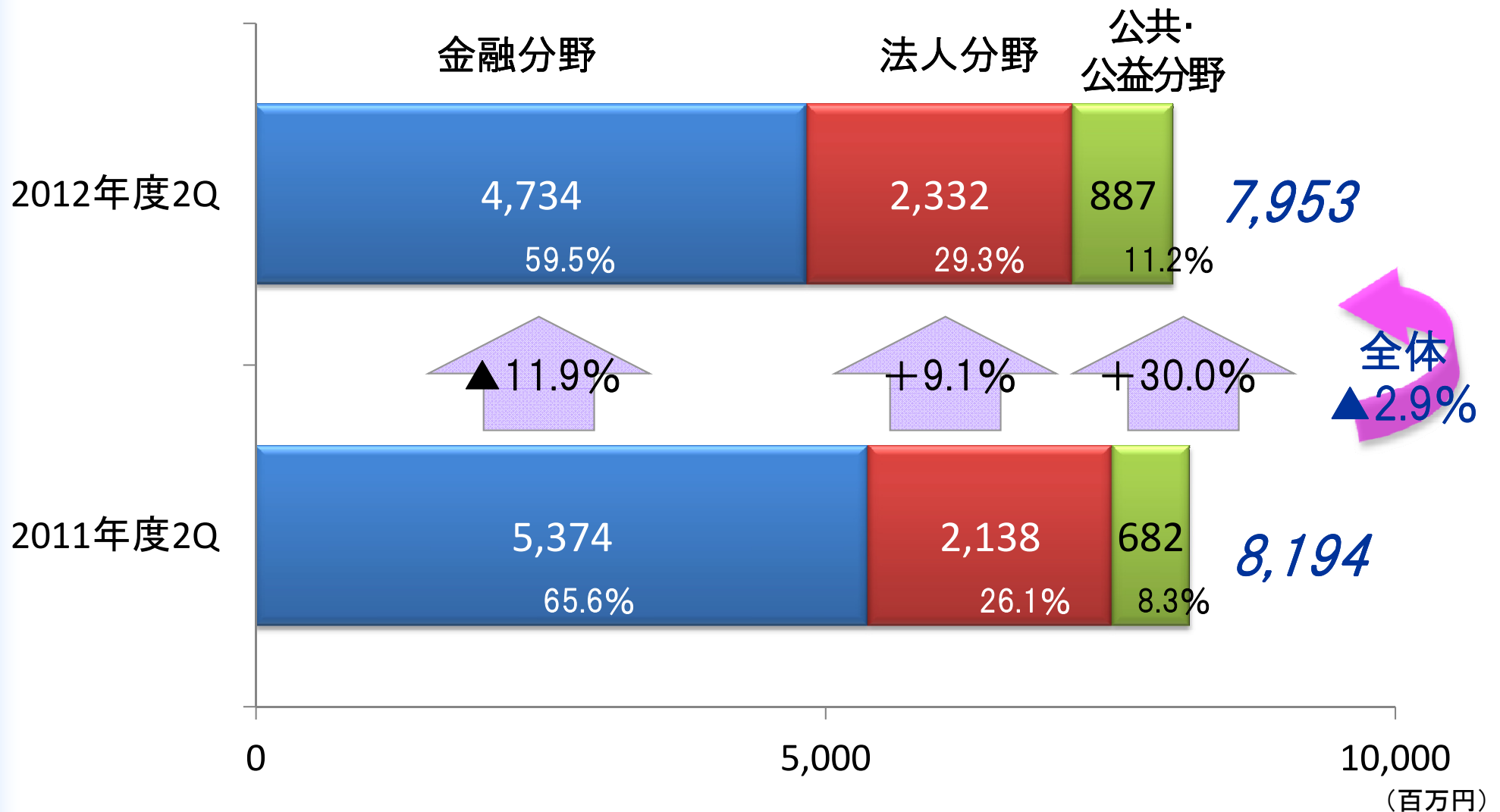
岩田 伸

損益計算書

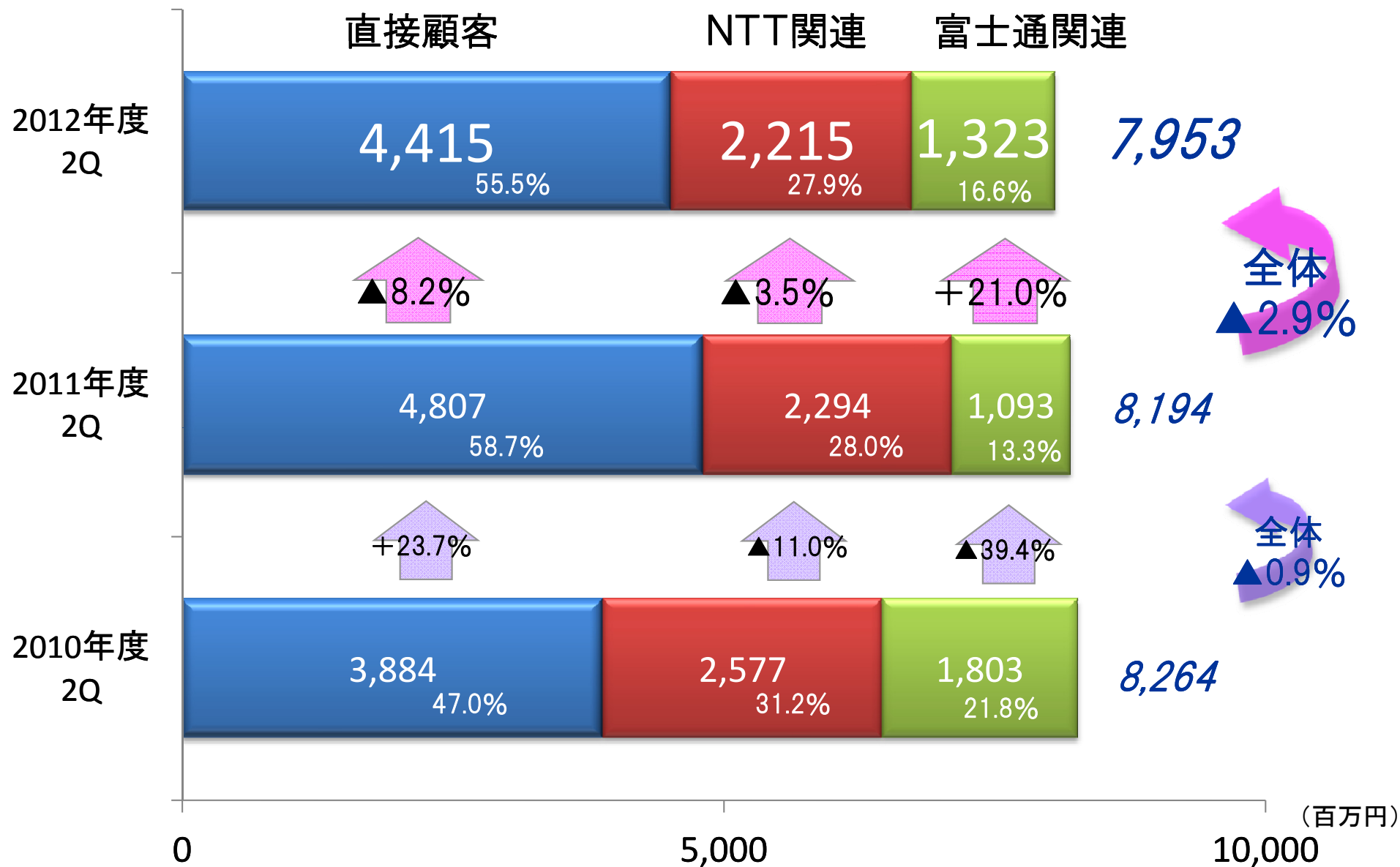
(百万円)

| | 2012年度 2Q累計 | 2011年度 2Q累計 | 増減額 | 増減率 |
|------------|----------------|----------------|------|--------|
| 売上高 | 7,953 | 8,194 | △240 | △2.9% |
| 労務費 | 3,619 | 3,561 | 58 | 1.6% |
| 外注費 | 2,951 | 3,179 | △227 | △7.2% |
| その他 | 365 | 389 | △24 | △6.2% |
| 仕掛増減高 | 258 | 33 | 225 | 670.8% |
| 売上原価 | 6,678 | 7,097 | △418 | △5.9% |
| 売上総利益 | 1,274 | 1,096 | 177 | 16.2% |
| 販売費及び一般管理費 | 990 | 871 | 118 | 13.6% |
| 営業利益 | 284 | 224 | 59 | 26.6% |
| 営業外収支 | 30 | 13 | 16 | 126.6% |
| 経常利益 | 314 | 238 | 76 | 32.2% |
| 特別損益 | — | △9 | 9 | — |
| 税引前当期利益 | 314 | 228 | 86 | 37.9% |
| 四半期純利益 | 178 | 120 | 57 | 48.1% |

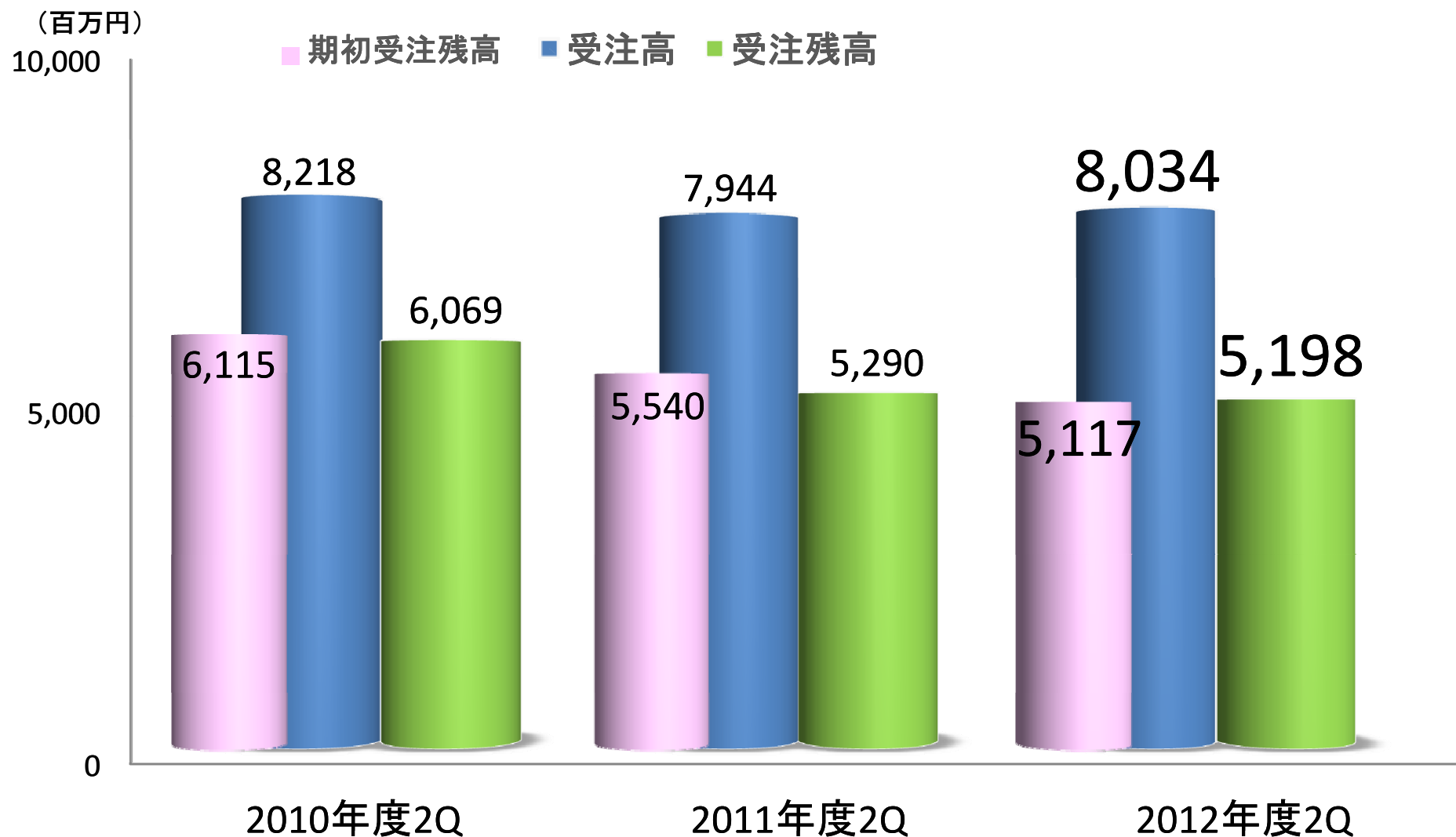
事業分野別売上高の状況



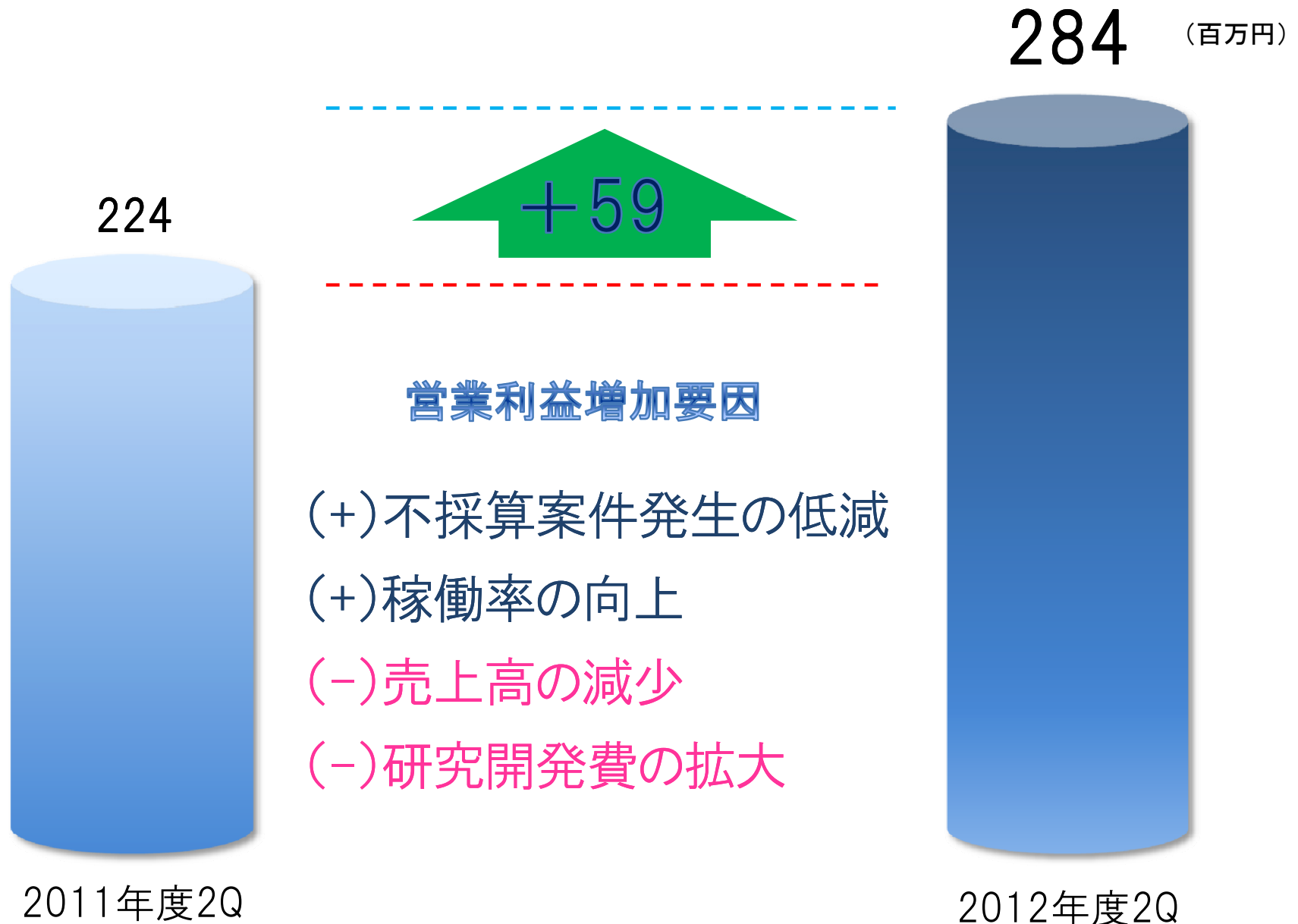
取引先別売上高の状況



受注高・受注残高の状況



営業利益分析（前年同期比）



貸借対照表

(百万円)

| | 2012年度2Q末 | 2011年度2Q末 | 増減額 |
|----------|-----------|-----------|-------|
| 資産合計 | 8,912 | 8,542 | 369 |
| 流動資産 | 7,421 | 7,198 | 223 |
| 現金及び預金 | 3,224 | 2,172 | 1,051 |
| 売掛金 | 2,883 | 3,118 | △234 |
| たな卸資産 | 761 | 654 | 107 |
| 固定資産 | 1,490 | 1,343 | 146 |
| 有形固定資産 | 62 | 61 | 1 |
| 無形固定資産 | 103 | 49 | 54 |
| 投資その他 | 1,323 | 1,232 | 90 |
| 負債合計 | 2,864 | 2,804 | 59 |
| 流動負債 | 2,801 | 2,750 | 50 |
| 買掛金 | 545 | 593 | △48 |
| 短期借入金 | 701 | 676 | 25 |
| 固定負債 | 62 | 54 | 8 |
| 純資産合計 | 6,048 | 5,737 | 310 |
| 負債純資産合計 | 8,912 | 8,542 | 369 |
| 自己資本比率 | 67.9% | 67.2% | |
| 1株当たり純資産 | 1010.99円 | 959.04円 | |

2013年3月期 第2四半期決算説明会

TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社

2012年11月16日

※本資料についてのご注意:

本資料に記載されているTDCソフトウェアエンジニアリング株式会社の将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

創業50周年を迎えて



TDCソフトは、
本年2012年10月に創業50周年を迎えました。
これもひとえに皆様のご愛顧の賜物であり、
深く感謝申し上げます。
これからの50年におきましても、最新の情報技術を提供し
お客様と共に発展するパートナーを目指してまいります。

おかげで
50周年

濫觴
(らんしょう)

どんな大河であろうと、その源は觴(さかづき)を濫(うか)べる(うかべる)ほどの源流にすぎない。というのが、この言葉の意味です。

どんなに大きな流れであっても、その始まりはたった一滴のしずくであり、しずくが集まって川となり、やがて世を潤す大河となります。

一人ひとりの個性や能力・努力が結集し、個の総和が組織の力となります。節目の年を新たなるスタートと捉え、これから先の未来へ向けて、私たちはお客様から必要とされ、信頼される企業であり続けたいと思っております。

TDCソフト50年の歴史

2012

～クラウドソリューションの拡充
グローバルITサービスにチャレンジいたします！



Mobile Cloud Solution



2002 ～新時代を見据えASP事業を開始



2006年ブランディングを実施し、
ロゴマークを一新

CloudDaysTokyoに出展

～バブル崩壊を乗り越え東証1部上場 **1992**



東証1部指定通知書
授与式

ISO9001本審査
芝浦システムセンター

1982 ～ソフトウェアエンジニアリング



～創業～計算センター時代 **1962**



TDCビル



1969年頃のキーパンチの様様

1972 ～脱計算センターを目指して



FACOM230-48導入



ロゴマーク
(2006年まで使用)



MRDB、ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー受賞

